

椎葉のホウレンソウが表彰

2月16日、ウェルシティ宮崎（宮崎市）で平成16年度宮崎県農産園芸特産物総合表彰式が行われ、県内の生産者や農業関係者などが多数出席しました。本村からは、県野菜共進会で1等となったホウレンソウ生産者の濱砂浩士さん（大藪）が、県農業共済組合連合会会長賞を受賞し表彰されました。

濱砂さんは、平成10年からホウレンソウの生産を始め、現在では33アールのハウスで年間12トン以上出荷しています。品質もよく、椎葉産高冷地野菜としてのブランド化にも貢献されています。



▲表彰を受けた濱砂浩士さん（大藪）

東臼杵郡地域婦人発表大会

2月19日、西郷村ニュー希望センターで第52回東臼杵郡地域婦人発表大会が行われました。同大会には、郡内9町村から婦人会会員200名が参加。「生きがいと活力ある地域づくりをめざす婦人の役割」というテーマのもと意見発表やアトラクションを行い、会員相互の交流を深めました。

本村から、右田美佐子さん（川ノ口）が「かてへりの里に生きる」と題して意見発表を行ったほか、小崎婦人会が「マツケンサンバⅡ」の踊りを披露。大会を盛り上げました。



▲華やかな踊りで大会を盛り上げた小崎婦人会の皆さん

桃の節句に「ひな祭りケーキ」

2月23日、保健センター「すこやか館」ですくすく子育て学級が行われ、手作りケーキに挑戦しました。同教室には、村内の親子10名が参加。パンとお菓子作りで地域活動を展開しているグループひえつき（尾八重）の皆さんの指導のもと、桃の節句に向けた「ひな祭りケーキ」作りを体験しました。

参加した方々は育児ボランティアの協力もあり、教室に専念。2時間ほどで、イチゴのひな人形で飾られた手作りケーキが完成しました。その後の試食では、子どもたちも大喜び。お母さん方も大満足のようでした。



▲完成したケーキを前に参加された方々

椎葉「山の幸」が大好評

2月24、25日、宮崎県庁前の楠並木通りで「県北15市町村楠並木物産展」が行われました。これは、県北の地場産品のPRと販路拡大による地域活性化を目的に、北部広域行政事務組合が主催したものです。

本村からは物産センター「平家本陣」が参加し、椎葉の特産品や農産物の素晴らしさを紹介しながら販売しました。また、むらおこしへルーム夢織会が梅干を、椎葉孝一さん（大藪）が「椎葉自然水」をそれぞれ街頭に出て宣伝。楠並木通りは「山の幸」を買い求める方で賑わいました。販売ではすぐ食べられる物や青果物、菜豆腐などがよく売っていました。



▲好評だった椎葉「山の幸」の品々